

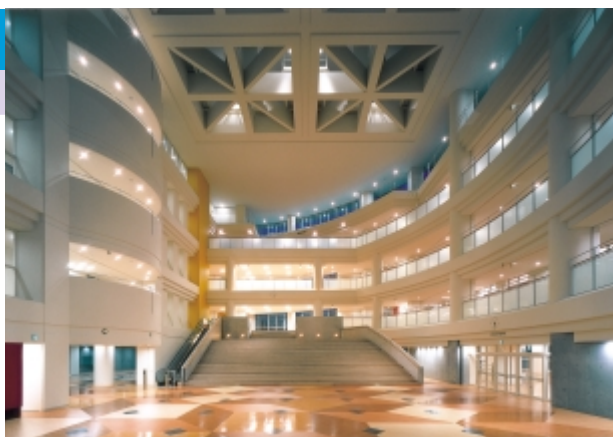
平成16年 照明普及賞 受賞施設の紹介

【照明普及賞（優秀施設）表彰】

1 駒澤大学附属苫小牧高等学校

苫小牧市

開校40周年記念事業として新校舎を建設した。建物は、半円形5階建て吹抜けの開放的なアトリウムホールを設置し「文武両道」をキーワードに一人ひとりの個性と可能性を引き出す「新たな教育環境」を創造している。昼間はトップライトからの採光を考慮し、夜間にはアトリウムホール全体が柔らかな光に包まれるようセラミックハライドランプのスポット照明や高効率蛍光ランプによるダウンライト電球色の採用などにより温かみを持たせ落ち着いた雰囲気 연출し、親しみやすく環境にも配慮した建物となっている。



2 旭山動物園 あざらし館

旭川市

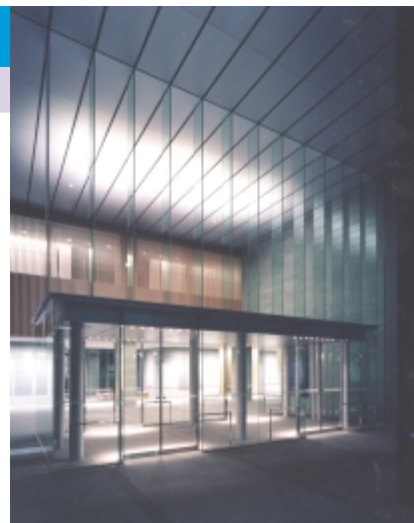
旭山動物園は日本最北の動物園で、動物たちのすばらしい能力や特徴的な行動が観察できるユニークな行動展示施設が多く作られている。平成16年に完成した「あざらし館」は深さ6mの大水槽を備え、上からだけでなく横からもアザラシが観察出来る2階構造の施設となっている。上階と下階とは円柱水槽でつながれておりアザラシの泳ぐ姿を身近で観察することができる。照明は上階よりメタルハライドランプを照射しアザラシの体色を忠実に観察できるように演色性を高めている。観察ホールは照度を最小限に抑えるよう、配光を狭角に制御したダウンライトを採用して、床面を効率よく照射している。



3 アーバンネット札幌ビル

札幌市中央区

当ビルは(財)建築環境・省エネルギー機構より「環境・エネルギー優良建築物マーク」の交付を受けている施設で、札幌の中心部に位置するオフィスビルでは、札幌最大規模の1フロア約2,500㎡の無柱空間を有し、フレキシビリティの高いワークスペースを提供している。さらに、最新の情報通信インフラの整備、環境保全を目指したエネルギー活用システム、高水準なセキュリティシステムの導入など最先端オフィス装備のビルとなっている。主要な照明にはグリーン購入法に適合した高効率Hf蛍光ランプを使用し、オフィスでは明るさセンサーにより、適正照度を維持するとともに共用部では人感センサーにより大幅な省エネを図っている。特殊な照明器具を使用せずシンプルな間接照明を多くし、空間デザインと一体化した光の配置を考慮した照明手法を用いることにより空間イメージの構成に照明が大きく貢献している。



4 ふれあい橋

天 塩 町

北海道西北部に位置する天塩町は、豊かな自然環境に恵まれている漁業と酪農の町です。町民の憩いの場であり、観光施設として親しまれている鏡沼公園・天塩川河川公園・てしお温泉夕映え荘を結ぶ遊歩道の設置に伴い「ふれあい橋」が創られた。海からの潮風と太陽を最大限に有効活用するため自然エネルギーを利用し環境に配慮した街路灯として、ハイブリット太陽灯が配された。景観の良さに合わせたデザインとなる様、6面体形灯具に光源は高圧ナトリウムランプを採用し、町のシンボル花ハマナスのプレートを配し、深夜消灯時には保安灯として白色LEDで足元を照らしている。



5 札幌三番街商店街のデザイン照明

札幌市中央区

札幌の中心部である三番街商店街に設置された照明設備として、夜間の明るさの確保とともに商店街の街並み構成の一翼を担っている。デザイン的にシンプルな照明灯でありながらも、照明器具の斬新さ、照明ポールのもつエンタシスの曲線の美しさやスレンダー感が賑わいのある三番街商店街に気品を漂わせている。光源は低出力高圧ナトリウムを使用し柱頭形器具でありながら上方光束比は5%以下である。照明器具はアルミ鋳物で耐久性があり、GL上2.1mまでは張り紙防止塗装が施され環境にも配慮されている。



6 JR千歳西口駅前広場

千 歳 市

千歳市の玄関口となるJR千歳駅は一年を通して千歳空港にも近く多くの利用者が見込まれている。今回、公共の交通機関の利便性向上と一般住民などのために駅前広場が整備され、憩いの場として利用出来るよう整備された。光源は高圧ナトリウムランプを主体、車道部では電車・飛行機に対して上方向光束を0%とした光害対策器具を使用し、歩道部・駐輪場には防犯やバリアフリーを意識した照明器具を使用している。緑地エリアにはベンチ足下にLEDフットライトを使用し、シンボルツリーをライトアップしメリハリを創りだしている。



7 札幌東宝ビル「札幌シャンテ」

札幌市中央区

当建物の計画にあたり冬の日照時間が短い北海道という地域特性や周囲の街並みに対し暖かさと煌く光りのメッセージを送るというコンセプトで設計された建物である。各テナントのブランドイメージを表現できるメッセージの高い施設づくりを目指し、内部の様々なアクティビティを発信するガラスキューブのイメージとしている。ベース照明ダウンライトはメタルハライドランプのカットオフアングル15度タイプを使用し、全体に光が拡散する様に考慮している。施設用途が飲食・物販という商業施設であることの配慮がなされている。



【北海道優秀照明施設賞表彰】

1 剣淵町 絵本の館

剣 淵 町

剣淵町は、絵本によるまちおこし運動が進められ、絵本原画展等を開催し「絵本の里剣淵町」が全国から注目され、絵本の館は町のランドマークになっている。この館の特徴として、どこに立っても中庭の全景が見え空間のシーケンスが面白い。対面する窓からは色と光のメッセージが送られ活動の様子やその情景が伺われる。通路アプローチは壁面照明と天井照明への照射を兼ねたアジャスタブル機能を使ったムーブメント設計を用い夜間外観の視覚的整理を行っている。また、書架室の照明は特殊カバーで制御され光はグレアをおさえ効率よく下方に光を導き出している。



2 特別養護老人ホーム やまとの里

千 歳 市

当施設は千歳市大和地区の保健福祉プランとして計画され、全室個室のユニットケアを目的とした特別養護老人ホームである。中庭を中心に6つのユニットを1フロアにまとめ共用部を囲むようにクラスター状に配置し、動線の短縮化を図る共に各所に光と風を取り入れている。外壁にはレンガに合わせ西欧風のブラケット照明を採用し、内部は演色性の良い光源を使用し暖かみのある空間を創りだしている。地域交流スペースの集会場・会議室にはスリムタイプの蛍光灯を採用し、同システム内にダイクロハロゲン使用の特注ユニバーサルダウンライトを併用し視聴機器を使用時の調光による高齢者視覚の低下を和らげるよう配慮されている。



3 サロマ湖鶴雅リゾート「竜宮亭・イストワール」

常 呂 町

サロマ湖畔に佇む、サロマ湖の眺望をすべての部屋から臨める温泉リゾートホテルである。今回、和と洋の寛ぎと集いの空間の用途を満たす飲食と宴会場を増床した。和の宴会場「竜宮亭」は個室と吹抜の大広間で構成され和の伝統美と古木を使用し、照明は木と和紙を使用した白熱電球、大広間はセラミックメタルハライドランプを間接照明で使用し、古木の大梁を見せるスポット効果を出している。イストワールは木製のシャンデリアとブラケットを特注し、斜め天井にはユニバーサルダウンライトをテーブルに向けて照度を確保している。



4 いぶり腎泌尿器科クリニック

伊 達 市

いぶり腎泌尿器科クリニックは西胆振管内有数の人工透析装置（40台）など最新医療器具を完備したクリニックで、アメニティーを重視した医療環境を提供している。施設内の主照明器具は省エネルギーを考慮したHf蛍光灯を使用しており、待合室・透析室は柔らかな雰囲気を作り出すため間接照明の手法がとられている。病室は帯電防止の亚克力パネルを使用し、かつ、グレアを防ぐ構造で病室の柔らかかでさわやかな照明環境を創り出している。



5 酪農学園大学附属動物病院

江 別 市

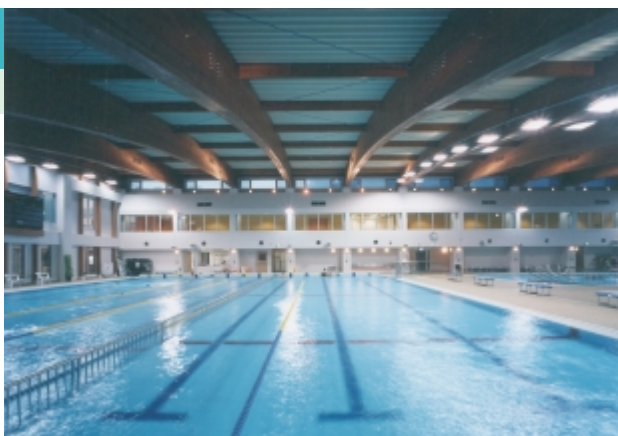
当病院は、生産動物・伴侶動物の医療・教育・研究、診療施設、および、野生動物医学などの研究施設である。施設は診療施設、入院棟、教育研究施設、環境汚染物質・感染病原体分析監視センター、野生動物医学センター、動物処理などからなり獣医師養成大学では国内最大規模の施設となっている。この、施設の照明設備は三波長域発光型Hf蛍光ランプ、コンパクト型蛍光ランプを使用し部位毎に用途にあわせ機能に意匠性を持たせた設計がなされている。



6 登別市民プール

登 別 市

当施設は公認競技用プールを備えた多目的屋内プールです。施設内部は連続する梁を強調した大空間の建築となっており、建築と融合する形の照明設備が計画された。プール内は天候や時間帯に応じて点灯パターンを変え、雰囲気と照度が調整できるフレキシブルな設計となっている。高演色形メタルハライド、コンパクト形蛍光ランプなど高効率高演色の光源を使用、さらに共用部に人感点滅制御を行なうなど省エネにも十分配慮されている。



7 WEST19

札幌市中央区

夜間急病センター・保健所・精神保健福祉センター・地域生活支援センターさっぽろが入る医療・保健・福祉のサービスを提供する複合施設である。利用者の利便性を考え施設全体でユニバーサルデザインを採用し、光源は数々の高効率高演色のランプを採用し省エネと健康に十分配慮されている。上下階で間接照明と光壁を兼ねた建築化照明や、無電極放電ランプの体育館への使用など新しい試みがされた照明計画となっている。



8 支笏洞爺国立公園洞爺財田自然体験ハウス

洞 爺 村

支笏洞爺国立公園洞爺財田自然体験ハウスは洞爺湖畔にあり、落葉広葉樹林に囲まれた自然環境に恵まれた施設である。体験ハウスの他にスポーツや自然情報などにより遊ぶ、学ぶが両立出来るスポットとなっている。施設の照明は自然環境の調和と環境負荷への低減を考慮された設備となっている。とくに、施設のメイン照明となる街路灯は無電極放電ランプを使用しランプの長寿命化を図るとともに、光害対策ガイドラインに合致する、上方光束比を5%以下に抑えた構造で周囲環境への配慮がなされている。



9 美幌町保険福祉総合センター「しゃきっとプラザ」

美幌町

本施設は美幌町が推進する「長生きを楽しめるまちづくり」の健康・福祉の拠点施設として役場庁舎の隣りに建設された。庁舎と渡り廊下で結び、3階建とすることで利便性と敷地の有効活用を図っています。高齢化社会を迎えつつある美幌町において、すべての人を優しく受け入れ、長生きを楽しめるまちのシンボルとなる施設である。ベース照明は省エネルギーを考慮して高効率のHf蛍光灯ランプ、コンパクト形蛍光灯ランプを使用し、事務室・トイレ・階段などには調光制御・センサにて、照明を入り切り・減光することで省エネを図り、自然にもやさしい施設となっている。



10 札幌市立北翔養護学校

札幌市西区

この学校は、重度・重複障害がある生徒が学ぶ学校として、中央小学校に併設されていた豊成養護学校の中学部・高等部の施設をまとめ、教育効果をより高めることを目的として建設された。施設は南東にまとまった庭を配置し境界も開放的な構造とすることで地域に開かれた施設となっている。ベース照明は高効率Hf蛍光灯ランプ、コンパクト形蛍光灯ランプを使用し省エネを図っている。スヌーズレン室ではAVとの連動による照明演出設備を設置し生徒がリラックスでき五感への刺激を感じとれる環境を演出している。



11 上富良野町保健福祉総合センター「かみん」

上富良野町

保健福祉総合センター「かみん」は、近い将来の高齢化社会に向けて、幅広い世代が気軽に利用でき、健康づくりに役立つよう計画された施設である。多目的ホールの照明はメタルハライドランプとハロゲンランプの混光照明を採用するとともに、各スペース別に適正な明るさと雰囲気に合わせて照明手法を用い、グレアの低減などの細かい工夫によって快適な視環境を実現し、人々が訪れやすい雰囲気を創り出している。



12 紋別市本町4丁目商店街 街路灯

紋別市

「Do!いなか博」を実施した紋別市内の幹線道である道々紋別丸瀬布線の道路改修工事に伴い、この沿道にある商店街の街路灯照明設備を更新することにあたり、街のイメージアップを図るためにデザイン化された照明柱を導入した。光源には長寿命型ツイン管ナトリウムランプを使用し、ポールの装飾部には「かに」を始めとした海産物をモチーフにしたオブジェを取り付け紋別のイメージアップを図っている。



13 宗教法人 妙進寺

紋別市

紋別市の小高い丘に位置し、緑に囲まれた自然環境の中に建つ近代寺院建築である。近代的な寺院建築の意匠に合わせた照明器具の選定と、寺院としての適性な照度の設定やランプの色温度の使い分けなど、随所にきめ細かな配慮が感じられる。本堂の外陣の間接照明や内陣の仏像への演出照明など、各スペースの用途に応じた照明手法で建築との美しい調和が実現されている。



14 医療法人 恵佑会札幌病院

札幌市白石区

恵佑会札幌病院では今回第6期の増築工事が完了し約22,500㎡の施設となった。それに伴い長くなった主動線をいかに患者をスムーズに誘導するかが大きなテーマとなった。エントランス・待合・廊下にはダウンライトや電球色ブラケット使用により優しい光で患者を迎え入れている。また、診療部門の作業エリアでは高演色高効率ランプの採用による十分な照度を確保し、作業に支障のないエリアには乳白色カバー付き器具を使用しグレアに配慮し清潔で快適な空間を創り出している。

